

 **三菱化学株式会社**

環境経営レポート

活動期間：2019年4月1日～2020年3月31日

エコアクション対象範囲：本社、第一工場、事務所、第二工場、第三工場、第四保管施設



発行日 2020年9月

目 次

1. 会社概要	P 2
2. 環境経営方針	P 4
3. 体制図	P 5
4. 産業廃棄物処理施設概要・許可一覧	P 5
5. 積替え保管施設	P 7
6. 産業廃棄物の実績	P 8
7. 環境負荷実績	P 8
8. 太陽光パネル発電状況	P 8
9. 廃棄物フロー図	P 9
10. 活動目標・実施結果、次年度の取り組み	P10
11. 環境問題への取り組み	P12
12. 2019年度法遵守状況	P13
13. 代表者による評価及び見直し結果	P14
14. 各委員会の活動だより	P15



1 会社概要

- 【名 称】 ニッコー・ファインメック株式会社
 【会社所在地】 岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6
 TEL. 0191-56-2601 (代) FAX. 0191-56-2619
 【代 表 者】 代表取締役 小野寺真澄
 【事 業 内 容】 産業廃棄物処理業 一般廃棄物処理業 くず再生業 貴金属の再生及び販売
 化学薬品の販売 一般貨物自動車運送事業 宝飾品の加工及び販売 古物商
 小型家電リサイクル業 機密書類の収集及び運搬業
 【創 業】 1975年1月15日 【資本金】 1000万円
 【売 上 高】 1065百万円 (2019年12月)
 【会社設立】 1980年1月14日 【従業員数】 74名
 【本社及び工場敷地・建物】

事務所	敷地面積	1,958.72㎡	建築面積	390.12㎡
第1工場	敷地面積	1,628.31㎡	建築面積	415.17㎡
第2工場	敷地面積	2,757.05㎡	建築面積	678.18㎡
第3工場	敷地綿製	10,170.00㎡	建築面積	1,239.13㎡
第4保管施設	敷地面積	226.41㎡	建築面積	39.64㎡

【主要設備】

焼却炉3基 電解機6台 精錬炉3基 破砕機2台
 中和処理施設一式 原子吸光分析装置1台 (計量証明事業第119号 濃度)
 トラックスケール(40t)1台 (計量証明事業 第118号 質量)
 車輛38台 センサー選別機1台 ICP発光分析装置1台
 フーリエ変換赤外分光光度計1台 油圧ショベル(ニブラ)1台

【収集運搬車両】

収集運搬車両38台

ユニック		フックロール		平ボディ			ローリー		大型 ウイング	パッカー	高圧吸引	箱車	バン
7t	3t	増t	4t	14t	8t	4t	12t	4t					
2台	1台	5台	4台	1台	1台	1台	2台	1台	2台	3台	1台	13台	1台

【認定取得】



いわて健康経営事業所



2020.3.2日本健康会議
「健康経営優良法人2020」
(経済産業省)



いわて女性活躍認定企業等



2018.12.25 (経済産業省)
「地域未来牽引企業」

【沿革】

1975年1月	株式会社日興薬品商店東北営業所として開設
1976年6月	代表取締役小野寺司個人経営で再生銀を始める
1980年1月	有限会社日興薬品（出資金500万円）を設立
1984年9月	倍額増資により払い込み資本金1000万円
1992年9月	第二リサイクル工場新設稼動
1998年9月	毒劇物販売業認可取得
1999年7月	称号を変更し、ニッコー・ファインメック株式会社となる
8月	毒劇物製造業認可取得
2001年11月	環境マネジメントシステムISO14001認証取得
2004年8月	環境ガードシステム（GPS・ICタグによる）導入
10月	3R（リユース・リデュース・リサイクル）推進協議会全国表彰
10月	第三工場新設稼動・パソコン及び周辺機器リサイクル開始
2005年3月	暗証ロックキー・監視カメラ搭載車稼動
2007年5月	計量証明事業所登録（質度）
6月	計量証明事業所登録（濃度）
9月	一関市とアドプト協定締結（おくたま親水公園）
2008年3月	「憩いの森」完成
6月	岩手県環境保全連絡協議会会長表彰「優良事業所」
8月	一般貨物自動車運送事業登録 東自貨第96号
12月	破碎機導入、磁選・篩・風力選別による鉄・非鉄金属リサイクルを開始
2009年6月	弊社代表取締役が「全国産業廃棄物連合会会長表彰（功労者）」を受賞
2010年5月	素材混合物リサイクルを主目的とした破碎機の許可取得（第3工場）
3月	「憩いの森」が一関百景認定
11月	弊社代表取締役が「循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰」を受賞
2011年3月	県南広域振興局「環境大賞」受賞
10月	弊社代表取締役が中央労働災害防止協会「緑十字賞」を受賞
2012年1月	環境配慮型新事務所に移転
2014年6月	全国産業廃棄物連合会「優良事業所」表彰受賞
2015年11月	リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 「循環型社会形成推進功労者大臣表彰」受賞
11月	岩手県「ECOアクション大賞」受賞
2016年7月	環境マネジメントシステム エコアクション21 認証取得
10月	岩手県交通安全優良事業所表彰 警察本部長表彰
4月	弊社代表取締役会長が旭日単光章叙勲
2017年1月	岩手県 アドプト活動モデル賞
1月	岩手県 環境保全活動知事表彰
3月	自動車安全運転センター 交通安全功労事業所表彰プラチナ賞
12月	いわて健康経営アワード優秀賞受賞
2018年12月	地域未来牽引企業認定
2019年2月	健康経営優良法人中小企業部門認定2019
12月	いわて健康経営アワード優秀賞受賞
2020年3月	情報セキュリティマネジメントシステムISO/IEC27001認証取得
3月	健康経営優良法人中小企業部門認定2020

2 環境経営方針

基本理念

ニッコー・ファインメック株式会社は、「環境先進企業」と「地域共生」を目指し、事業活動を通じて持続的な循環型社会形成に貢献し、継続的な環境保全活動に取り組みます。人や環境に対する負荷を軽減し、常に今ある資源を最大限に活かしたりリサイクルサービスを提供します。

〈基本方針〉

1. 省資源・省エネルギー、資源有効利用の推進、廃棄物の削減、汚染の予防を図り、環境の維持向上に努めます。
2. 環境関連法規制や条例、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・目標を定め実行し、定期的な見直しを行いながら継続的な改善を図ります。
4. ひとつひとつのリサイクル課題を自分事として丁寧に寄り添い、今できる最大限を提案することで、時代の潮流を捉えた新たなリサイクルサービスを提供できる企業を目指します。
5. 社員及び関係者に、環境に対する教育・啓蒙を積極的に行います。

〈行動指針〉

1. 産業廃棄物の収集運搬と中間処理における事故の未然防止に努めるよう、安全管理に取り組みます。
2. 生産性の向上、環境効率を高めるために、効率的物流・効率的業務に取り組みます。
3. 受託した産業廃棄物は適正に処理します。また、廃棄物のリサイクル技術向上に向けて惜しまず努力します。
4. お客様の価値・課題と向き合い、信頼性と満足度の向上を目指します。
5. 社員各自が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。
6. 消耗品や備品にも環境対応に着目し、環境負荷の少ない製品・サービスを優先するようグリーン調達を推進します。
7. 地域の自然と環境維持のため、美化活動と社会貢献活動を継続的、積極的に行います。

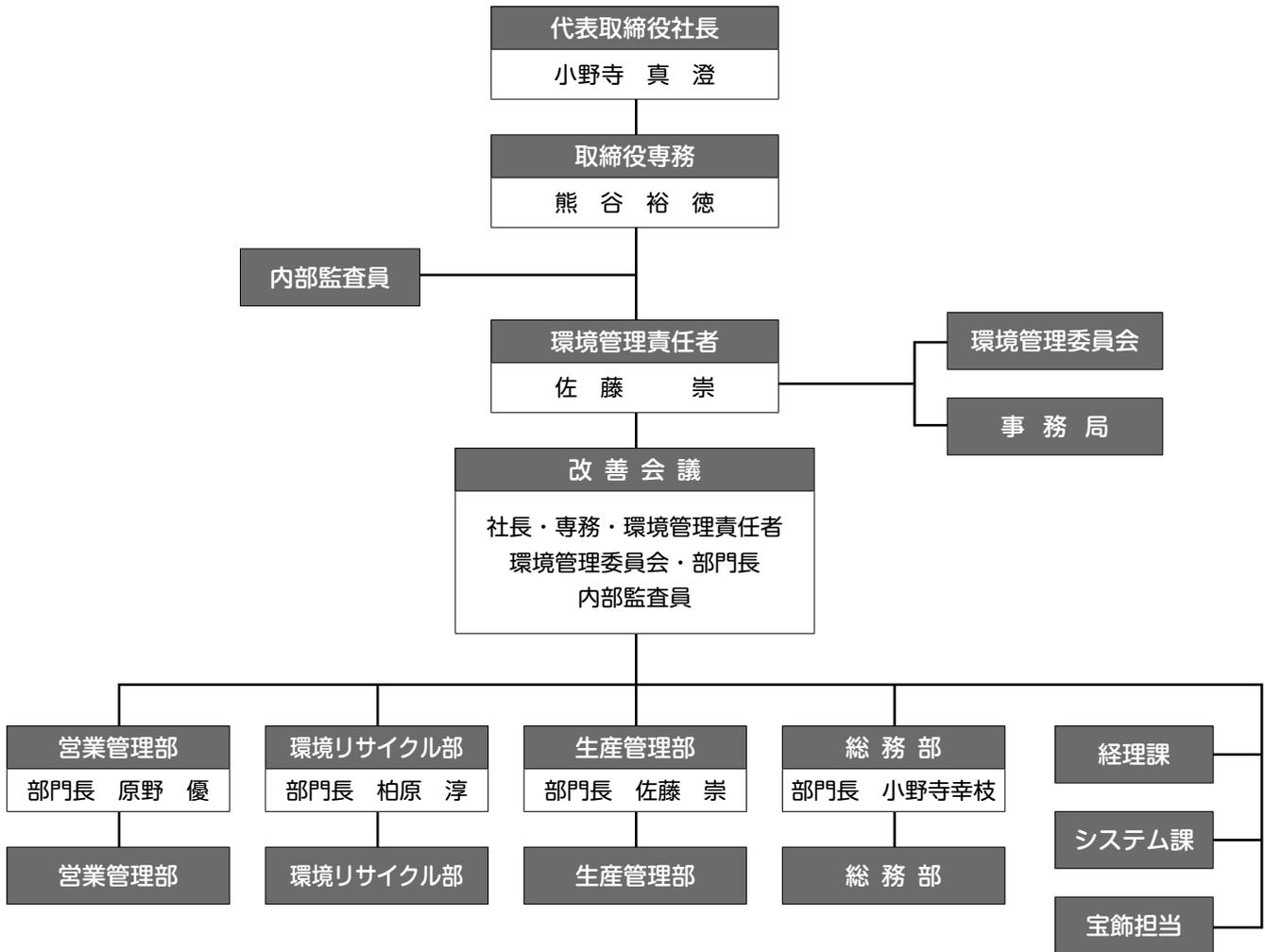
この環境経営方針を、社員・役員に周知すると共に、一般にも公開します。

2020年6月5日

ニッコー・ファインメック株式会社
代表取締役 小野寺 真澄

環境経営方針（7版）

3 体制図



4 産業廃棄物処理施設概要・許可一覧

(1) 産業廃棄物処理施設概要

処理方法	廃棄物の種類	設置場所	処理能力
焼却	廃プラスチック類	一関市千厩町奥玉字天ヶ森 75-6	600kg/日
電解	廃酸	一関市千厩町奥玉字天ヶ森 75-6	2,350L/日
中和	廃酸・廃アルカリ 特管廃酸・特管廃アルカリ	一関市千厩町奥玉字天ヶ森 75-6	24,000L/日
破碎Ⅰ	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず	一関市千厩町奥玉字入山沢 329-1	1,440kg/日
破碎Ⅱ	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず	一関市千厩町奥玉字天ヶ森 34、 56-2、62、68-1 及び 86-1	4.8t/日
切断	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず	一関市千厩町奥玉字天ヶ森 34、 56-2、62、68-1 及び 86-1	11.36t/日

(2) 許可一覧

産業廃棄物 〔収集・運搬〕

〔処分〕

許可取得自治体	岩手県	青森県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	岩手県
許可番号	00314003174	00201003174	00504003174	00400003174	0609003174	00707003174	00324003174
許可日	2020.4.30	2015.11.17	2016.4.13	2017.2.1	2016.9.4	2017.2.8	2019.11.15
許可期限	2024.5.7	2022.11.1	2023.4.12	2024.1.31	2023.9.3	2024.2.7	2024.5.7
優良認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
廃プラ	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○
がれき類	○			○	○		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○
汚泥	○	○	○	○	○	○	
燃えがら	○	○	○	○	○		
紙くず	○	○	○	○	○	○	
繊維くず	○			○	○		
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	
鋳さい	○	○	○	○	○		
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○
動植物性残さ	○			○	○		

特別管理産業廃棄物 〔収集・運搬〕

〔処分〕

許可取得自治体	岩手県	青森県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	岩手県
許可番号	00364003174	00251003174	00554003174	00450003174	00659003174	00757003174	00374003174
許可日	2020.4.30	2017.11.15	2017.11.8	2018.1.16	2020.7.1	2015.7.22	2013.8.2
許可期限	2020.8.1	2022.6.28	2022.6.9	2022.6.30	2022.5.19	2022.6.14	2020.8.1
優良認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
汚泥	○	○	○	○	○	○	
燃えがら	○	○		○			
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○
ばいじん	○	○		○			
廃ポリ塩化ビフェニル等	○	○	○	○	○		
ポリ塩化ビフェニル汚染物	○	○	○	○	○		
感染性	○	○	○	○	○	○	
廃水銀等	○						

一般廃棄物

盛岡市一般廃棄物収集運搬(積替保管を除く) 指令1 廃第2-19号 2020年3月1日~2022年2月28日
一関市一般廃棄物収集運搬(積替保管を除く) 第12025号 2020年4月1日~2022年3月31日

5 積替え保管施設

所在地：岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75番6

廃棄物の種類	産業廃棄物		特管産廃	
	平米	立米	平米	立米
廃アルカリ	5.9	2.0	5.9	3.0

所在地：岩手県一関市千厩町奥玉字入山沢329番1

廃棄物の種類	産業廃棄物		特管産廃	
	平米	立米	平米	立米
廃酸	6.10	3.60	6.97	4.38
廃酸（水銀含有ばいじん等を含む。）	0.87	0.78	—	—
廃アルカリ	2.70	1.80	3.57	2.58
廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を含む。）	0.87	0.78	—	—
汚泥	13.50	16.00	4.56	4.40
汚泥（水銀含有ばいじん等を含む。）	0.81	0.40	—	—
汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）	0.40	0.08	—	—
金属くず	1.50	2.00	—	—
金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）	0.40	0.08	—	—
ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず	1.50	0.96	—	—
廃プラスチック類	17.50	22.00	—	—
廃乾電池（金属くず及び汚泥の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。）	0.48	0.20	—	—
廃乾電池及びバッテリー（金属くず、廃プラスチック類及び汚泥の混合物。）	0.48	0.20	—	—
廃蛍光管（金属くず、ガラスくず及び廃プラスチック類の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。）	6.49	6.40	—	—
LED及び白熱灯（金属くず、ガラスくず及び廃プラスチック類の混合物。）	2.75	2.85	—	—
血圧計及び体温計（金属くず、ガラスくず及び廃プラスチック類の混合物。水銀使用製品産業廃棄物を含む。）	0.63	0.24	—	—
感染性産業廃棄物	—	—	24.30	40.90
廃水銀等	—	—	0.81	0.045

所在地：岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森34番、56番2、62番、68番1、86番1

廃棄物の種類	産業廃棄物		特管産廃	
	平米	立米	平米	立米
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	62.40	104.00	—	—
廃油	8.20	2.00	10.50	4.40

所在地：岩手県一関市千厩町奥玉字入山沢331番4、331番5

廃棄物の種類	産業廃棄物	
	平米	立米
燃え殻	11.70	12.00
廃プラスチック類	46.80	48.00
ゴムくず	11.70	12.00
金属くず	11.00	12.00
木くず	11.00	12.00
鋳さい	11.70	12.00
繊維くず	17.80	12.00



6 産業廃棄物の実績

〔運搬〕 産業廃棄物

種 類	合計 (t)
燃えがら	15.876
汚泥	1,801.636
廃油	395.852
廃酸	250.196
廃アルカリ	2,377.030
廃プラスチック類	2,911.958
紙くず	1.370
木くず	107.020
動植物性残さ	46.820
ゴムくず	0.010
鋳さい	258.803
金属くず	159.289
ガラス陶磁器くず	324.437
がれき類	21.210
廃プラ・金属の混合、廃プラ・金属・ガラスの混合	196.207

種 類	合計 (t)
金属くず、汚泥の混合 (乾電池等)	4.617
金属、ガラスの混合 (蛍光管等)	19.246
金属、汚泥、廃プラの混合	0.000
合 計	8,891.567

特別管理産業廃棄物

種 類	合計 (t)
廃油	115.641
廃酸	1,143.687
廃アルカリ	534.704
感染性産業廃棄物	853.272
汚泥	0.541
ばいじん	882.390
廃PCB等、PCB汚染物	23.100
合 計	3,553.335

〔処分〕 産業廃棄物

種 類	合計 (t)
廃酸	228.469
廃アルカリ	394.603
廃プラスチック類	4.174
ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず (石膏くず)	113.106
廃プラスチック類、ガラスくず、金属くず、又はその混合物	25.933
合 計	766.285

特別管理産業廃棄物

種 類	合計 (t)
廃酸	72.101
廃アルカリ	273.592
合 計	345.693

(2019年4月1日から2020年3月31日)

7 環境負荷実績

	単 位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	825,161	896,311	826,854
電気	kWh	226,830	252,107	230,939
灯油	L	8,715	7,985	7,730
A重油	L	6,960	6,320	5,110
液化石油ガス(LPG)	kg	443	483	505
ガソリン	L	9,165	8,472	9,278
軽油	L	255,162	278,921	272,919
水	m ³	246	311	219

8 太陽光パネル発電状況

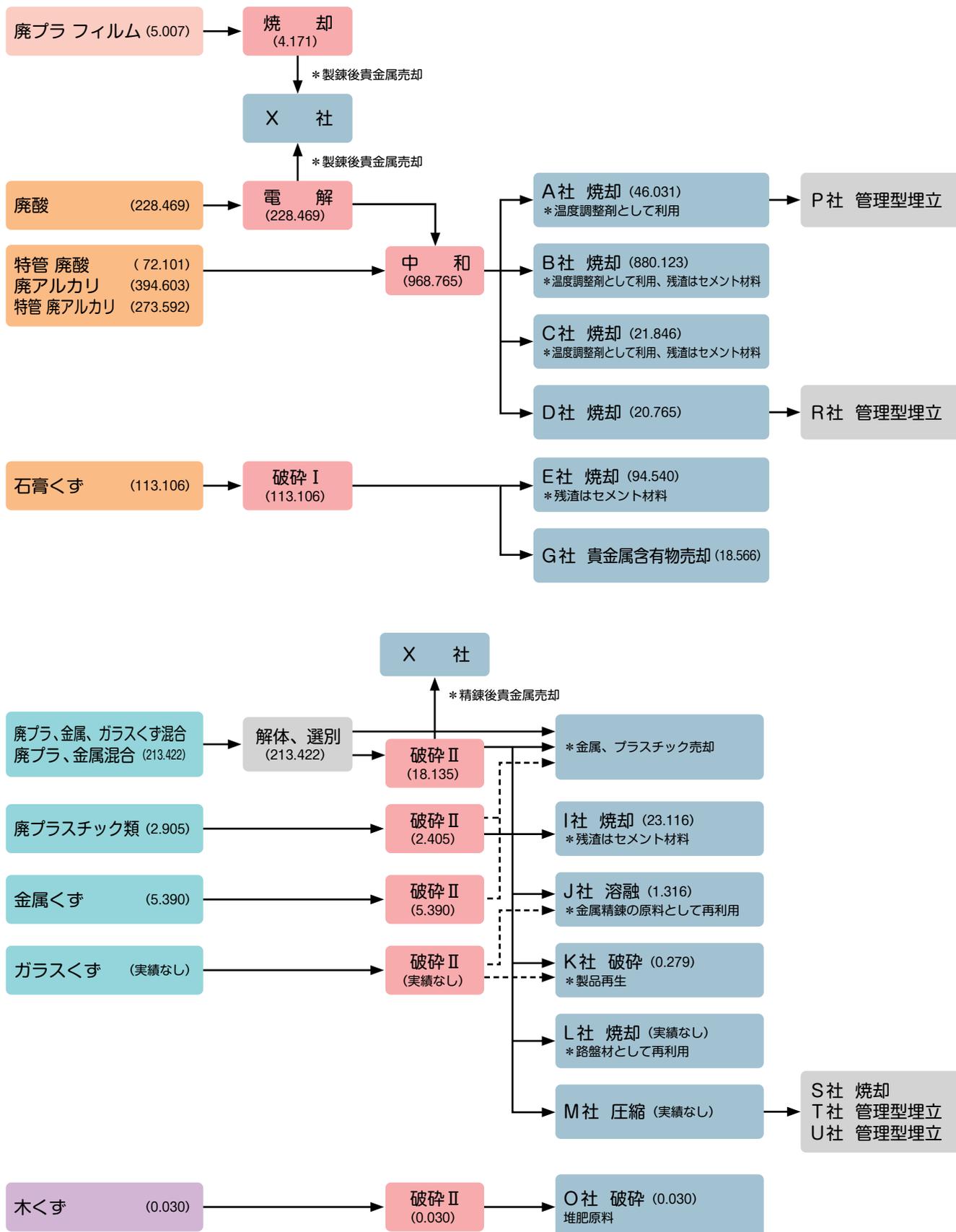
単位：kWh

年	発電量	売電量	使用量
	計	計	
2019	56,078	50,082	5,996
2018	51,507	46,756	4,751
2017	49,185	44,437	4,748

大きく成長した杉の木 (樹齢 50 年、高さが約 20 ~ 30 m) は、年間約 14 kg-CO₂ の二酸化炭素を吸収するとされています。太陽光発電協会 表示ガイドライン (2019年度)によると、結晶系シリコン太陽電池で削減できる二酸化炭素は 450.5g-CO₂/kWh であり、2019年度の発電量から換算すると 25,263kg-CO₂ となります。これは大きく成長した杉の木 1,804 本分となり森林面積では 21,648 m² の広さになります。また、石油換算では 12,729 ℓ 分の削減効果がありました。

9 廃棄物フロー図

(単位：t)



10 活動目標・実施結果、次年度の取り組み

(1) 活動目標 (2019年4月1日～2022年3月31日)

目的 SDGs	実施項目	2018年 基準実績	2019年		2020年		2021年	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素削減	処理量1tあたりのCO ₂ 排出量の削減 運搬効率の向上	排出量 (t-CO ₂)						
		904.3330	943.6636	852.0230	855.8690		877.0340	
二酸化炭素削減 (排出原単位削減)	(生産管理部) 処理量1tあたりのCO ₂ 排出量の削減 破碎・選別作業の効率化	原単位 (t-CO ₂ /t)						
		0.0776	0.0808	0.0620	0.0615		0.0610	
二酸化炭素削減 (排出原単位削減)	(営業管理部・リサイクル部) 運搬量1tあたりのCO ₂ 排出量の削減 運搬効率の向上	原単位 (t-CO ₂ /t)						
		0.0640	0.0492	0.0484	0.0482		0.0480	
収集運搬事故ゼロ	取引先及び処分場の危険箇所の調査等	発生件数						
		19件	0件	5件	0件		0件	
適正処理・リサイクル推進	前年度以上の再資源化	90% 995t	前年度以上	94% 1,045t	前年度以上		前年度以上	
 								
顧客満足度の向上	顧客満足度向上に繋がるような改善案を月2件以上	-	2件/月	1.6件/月	2件/月		2件/月	
 								
環境教育年1回以上	年に1回以上実施する。	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年		1回/年	
  								
アドプト活動	年に3回以上参加する。	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年		3回/年	
 								

※電力CO₂係数→東北電力 0.523 (t-CO₂/kwh)

(2) 2019 年度実施結果

項目	実施結果	評価
二酸化炭素排出量の削減 	生産管理部では機器のメンテナンスを行ったことにより処理効率が上がり、電気の使用量を抑えることができました。運行部門は運搬重量の原単位削減を目標とし、情報共有や相互協力によって運搬効率を改善しCO ₂ 排出の抑制目標を達成できました。	○
収集運搬事故ゼロ 	事故ゼロは未達成でした。5件発生のうち1件は貰い事故でしたが4件は駐車場や構内における対物の接触事故でした。委員会で地元警察署主導の勉強会や運転研修テキスト、安全運転5か条唱和などを実施したことにより事故が減ってきたので、引き続き事故ゼロに向けて取り組んでいきます。	×
適正処理・リサイクル推進  	自社排出量の80%以上をリサイクル可能な処分場へ搬入を推進しており、年々、再資源化量が増えています。このことから、目標を前年度以上と設定し、2019年は前年比4%（50t）増の約94%（1045t）を再資源化することができました。残りの6%は複数の処分場との契約でメンテナンス期間やBCP（事業継続計画）として必要なリスク管理分となっています。	○
顧客満足度の向上  	業務改善を通して作業効率と作業環境の向上を目的に間接的ではありますが顧客満足に繋がるよう、改善案を月に2件以上の目標として取り組みました。担当現場や会社のルールなど改善したいことを提案し、誰もが声を上げやすいようになりました。	×
環境教育年1回以上   	初期教育や環境教育等を年1回以上、問題となっている環境問題をテーマに全従業員へ向けて発信しています。環境問題へ目を向けてもらうことで業務の必要性や個々の行動責任の重要性に目を向けて環境意識を深めてもらう場となっています。また、エコバックを社内配布し、コンビニのビニール袋の削減にも取り組んでいます。	○
アドプト活動・地域環境活動へ年3回以上参加  	河川の清掃などの地域主催の環境活動や近隣公園のアドプト活動で年3回の草刈りを実施しています。また、地域主催の環境活動で河川の清掃にも参加し、地元老人クラブと合同でガードレール清掃も行いました。	○

(3) 次年度の新規取り組み事項



・排出原単位削減

作業の効率化による CO₂ 排出原単位の削減 ⇒ 目標 0.0615t-CO₂/t

効率的収集運搬による CO₂ 排出原単位の削減 ⇒ 目標 0.0482t-CO₂/t

(4) CO₂ 排出抑制・廃棄物の再資源化活動

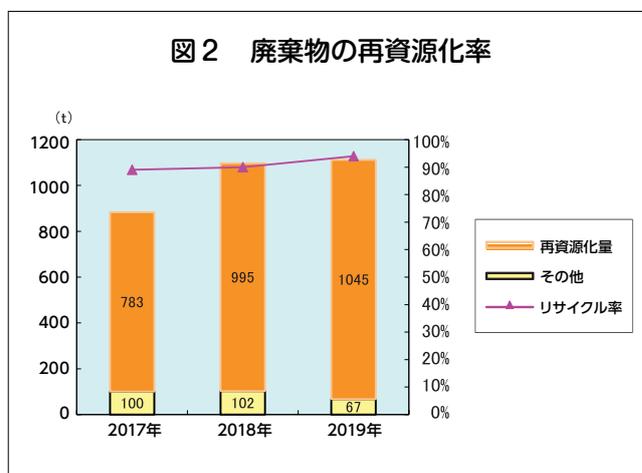
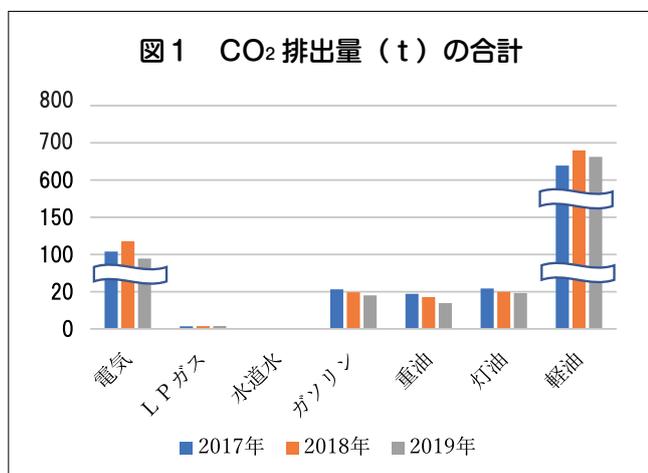


【CO₂ 削減目標】

2019年度は効率作業改善に取り組み原単位削減目標を設定しました。

【廃棄物の再資源化】

お客様から受託した産業廃棄物は当社で中間処理後、当社の廃棄物として最終処分を委託しますが、2019年度は全体の約94% (1,045 t) が再資源化できました。残りの6%が未達成の理由は、東北各地の複数処分場と契約する事で、メンテナンス期間やBCPのために会社として必要なリスク管理と位置付けており、維持管理数値としております。(廃熱利用が規定値を満たさない焼却処理場があるため)



11 環境問題への取り組み



2020年7月1日より、プラスチック製レジ袋が全国で有料化になりました。2018年、主要国首脳会議 (G7) により、各国が取り組んでいくプラスチックごみによる海洋汚染問題への対策をまとめた「海洋プラスチック憲章」が採択され、日本も脱プラに向けて取り組んでいかなければなりません。

有料化に対して懐疑的な声も多いですが、身近な生活の中でビニール袋が有料化され、それが本当に必要かを考えるきっかけになることが目的です。日本で排出されるプラスチックごみ年間900万トンからすると、レジ袋は推定で20万トン (約2パーセント) と少量ですが、私たちが問題に

気づき、ライフスタイルを変えるきっかけになりつつあることは確かであり、期待値は大きいと思います。

ドライバーや営業マンがランチに利用するコンビニ弁当もしっかり入るオリジナルエコバックを作成し、7月からは全社員で「NO thank youレジ袋」に取り組んでいます。

12 2019年度法遵守状況

産業廃棄物処理施設 廃プラスチック焼却炉 第1工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	ダイオキシン類	5	5	0.05	0.017	ng-TEQ/m ³
	ダスト濃度	—	0.15	0.1	0.04	g/m ³
	硫黄酸化物	—	1.99	0.05	0.052 (※0.0048)	m ³ /h
	窒素酸化物	—	180	110	81	volppm
	塩化水素	—	700	25	16	mg/m ³
洗煙水	ダイオキシン類	100	—	30	3.1	pg-TEQ/L
作業環境	ダイオキシン類	—	—	A測定	0.036	pg-TEQ/m ³
	ダイオキシン類	—	—	B測定	0.045	pg-TEQ/m ³

有価物処理施設 フィルム焼却炉 第2工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	ダイオキシン類	—	—	0.1	0.0006	ng-TEQ/m ³
	ダスト濃度	—	—	0.1	0.025	g/m ³ N
	硫黄酸化物	—	—	0.1	0.001	m ³ N/h
	窒素酸化物	—	—	110	65	volppm
	塩化水素	—	—	30	0.94	mg/m ³ N

金属回収処理施設 排ガス洗浄スクラバー 第1工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
排ガス	塩化水素	—	—	10	0.1未満	mg/m ³ N
	硝酸	—	—	7.5	0.2未満	mg/m ³ N
	硫黄酸化物	—	—	0.8	0.2未満	mg/m ³ N
	窒素酸化物	—	—	7	1.0	volppm
	アンモニア	—	—	2.5	0.4	mg/m ³ N
地下水	総水銀	—	0.0005	—	0.0005未満	mg/L
	硝酸性窒素	—	10	—	2.6	mg/L
	アンモニア性窒素	—	—	—	0.05未満	mg/L
土壌	水銀又はその化合物	—	0.0005	—	0.0005未満	mg/L

※ 2019年 硫黄酸化物が自主基準値オーバーのため、対策後に再測定

貴金属回収処理施設 排ガス洗浄スクラバー 第2工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
地下水	シアン化合物	—	不検出	—	不検出	mg/L
土壌	シアン化合物	—	不検出	—	不検出	mg/L
作業環境	シアン化水素	—	—	A測定	0.3未満	ppm
	シアン化水素	—	—	B測定	0.3未満	ppm

産業廃棄物積替え保管施設 第2工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
地下水	シアン化合物	—	不検出	—	不検出	mg/L
	鉛	—	0.01	—	0.002未満	mg/L
	六価クロム	—	0.05	—	0.02未満	mg/L
	総水銀	—	0.0005	—	0.0005未満	mg/L
土壌	シアン化合物	—	不検出	—	不検出	mg/L
	鉛又はその化合物	—	0.01	—	0.002	mg/L
	六価クロム 化合物	—	0.05	—	0.005未満	mg/L
	水銀又はその化合物	—	0.0005	—	0.0005未満	mg/L

産業廃棄物処理施設 破砕機 第3工場

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
作業環境	騒音	—	—	A測定	88.3	dB
	騒音	—	—	B測定	94.4	dB

排水

		法規制	公害防止協定	自主基準値	測定値	単位
第1工場	SS	200	—	40	1.0	mg/L
	COD	160	—	15	2.4	mg/L
	BOD	160	—	10	0.8	mg/L
第2工場	SS	200	—	40	1未満	mg/L
	COD	160	—	10	0.9	mg/L
	BOD	160	—	10	0.7	mg/L
第3工場	SS	200	—	40	1.0	mg/L
洗車場	COD	160	—	15	1.3	mg/L
	BOD	160	—	10	0.9	mg/L

※ 弊社は工場排水を排出しておりません。第1・第2工場においては生活排水のみになります。第3工場の排水は車両洗車での水で、油水分離槽で処理したものです。

※ 環境法令違反・訴訟等はありません。

13 代表者による評価及び見直し結果



項目	環境管理責任者からの報告	代表者による評価及び指示
環境内部監査結果と是正状況	内部環境監査にて、NCR11件、OFI1件発生しています。やるべきことを後回しにしているか、スケジュールを忘れていたといった要因での発生が殆どで、今まで中心になって回していたメンバーの業務が忙しいのであれば、担当者を変更するなどの体制刷新が必要です。	重要なことが引き継がれていない、長い間気付かれない、忙しさを理由に報告が遅れるなど、由々しき問題です。気持ちが緩み、作業に必要な緊張感が欠けています。やるべきことを怠らず、緊張感と自分の責任を認識して行動するように考えを改めて下さい。また、ミスが有ることを前提に継続的な教育と指導をお願いします。
法規制及びその他の要求事項の遵守評価の結果	遵守評価表を基にチェックを行った結果遵守を確認しました。記録作成で漏れがありました。チェックにて発見され速やかに作成されました。実施事項一覧を作成するなど漏れなく実施できるような体制作りと担当者の代替わりなどの変化点に注意が必要です。	記録作成の漏れた件など、重篤な事故に繋がる不安要素です。上司は厳しく見て、やっているだろう、解かっているだろうといった気持ちを排除し、指導をお願いします。部員を心から信用するのは別に、ミスが有ることを前提とした確認が必要です。
苦情を含む外部利害関係者からのコミュニケーションの結果	クレーム報告書は2件、内部情報12件、外部情報55件、指示書伝達書は77件発行されており、クレーム報告書は送付ミスによるものでした。クレームゼロを目標に、まずは人為的なミスを減らすための工夫が必要です。ダブルチェックを増やすのではなく、ミスが発生しづらい物理的な工夫やフローの見直しも必要ではと思います。	クレームの減少は素晴らしい結果でした。この取り組みをさらにより良いものとするために、個人携帯への潜在的なクレーム、些細なことと思いき報告をしないといったことも確認するようにしてください。クレーム自体を厳しく問い詰める事は必然ではなく、原因を特定し会社としての理念ある真摯な対応が必要です。些細なことでも報告し、誠意を持って正しく対処する力を身につけてください。
目的目標の進捗	原単位の削減を目標に取り組んだ結果、生産での処理効率、営業・リサイクル部での運搬効率共に改善しており、目標を達成しています。しかし、原単位を下げる為の取組みとしては解りづらいところもあり、各部とも現場レベルでの取組みや指示が難しかったようです。	CO ₂ 排出原単位は委員会管理とし、各部プログラムはもっと分かりやすい目標を掲げて下さい。数値が複雑かつ直感的に理解しにくく、モチベーションが保ちにくいように思えます。単純・明確で指示が出しやすく、実力の115%~120%を目指す取組みと、担当者を明確に。
是正処置及び予防処置の状況ない	37件の是正書が発行されています。配置転換や不慣れな作業などの変化点で多く発生したようです。また、うっかりに起因する是正も何度も繰り返されており、明確な原因が見つからず対策が滞りがちになっています。	委員会として是正が多い状況に危機感を覚え、今後の業務及び経営の不安が高い状況が続いています。昨年までの内容と傾向を取り纏め、それに基づいて今期の対策を検討しましょう。
以前のマネジメントレビュー指示事項の進捗	運用面での簡素化が出来ておらず、通常業務も増える中で委員会業務がスムーズに回っていない状況です。また、是正についても過去の発生内容と原因についての傾向を纏めることが出来ていない為、予防といった点での対策が遅れています。根本的に委員会内での担当や分担を見直し、委員会の管理体制を強化します。	ESG（環境・社会・ガバナンス）投資も組み込まれてくることから、環境経営も分かりやすく開示する仕組みを求めます。環境レポートについても旧態依然であり、改善を求めます。

14 各委員会の活動だより



安全衛生委員会

日頃の運動不足で運動のきっかけとなればと“毎朝ラジオ体操”を始めました。朝に体操をすることで、自分の体調や体の変化に気づく事も出来るようになりました。



安全衛生委員会

社員によるソフトバレー大会を実施しました。日頃の運動不足で体が動くか心配したのですが、コートいっぱい駆け回り、10代顔負けの運動能力で大会を終えました。



安全運転管理委員会

地元警察署交通課長様に来ていただき、社員の安全運転に関する勉強会を実施しました。県内の事故状況、道交法改正の講話、ソフトを使用した危険予知体験をしました。



防火管理委員会

地震発生後に自社工場からの火災発生を想定し、通報・連絡・消火・避難・救助の訓練を実施しました。社員の安否確認は避難場所でタブレット端末を使用して行いました。



環境管理委員会

一関市とのアドプト協定による「おくたま親水公園」の草刈りを実施しました。親水公園を地域の皆様が気持ちよく利用できるよう、今後も整備管理に協力していきます。



環境管理委員会

地元警察署様の交通誘導のご協力の下、地元老人クラブの皆様と協力し、町内のガードレール清掃を実施しました。汚れていたガードレールがピカピカになりました。

ニッコー・ファインメック株式会社 × SDGs宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

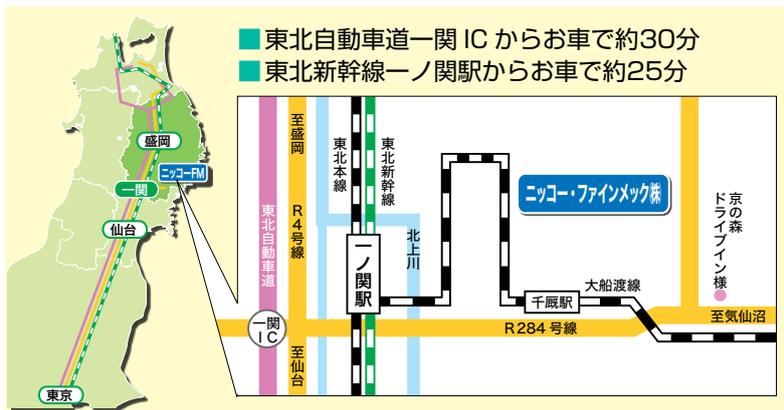


ニッコー・ファインメック株式会社は国連によって採択された「持続可能な2030年までの開発目標SDGs」に賛同し、環境方針で定める行動指針に則り、特にもゴール3、12、13において重点的に取り組むことを宣言します。

環境・地球 21世紀の創造企業
ニッコー・ファインメック株式会社

岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森 75-6
TEL.0191-56-2601 (代) FAX.0191-56-2619
<http://www.nikkofm.co.jp>

この印刷物の無断転載を禁じます。



エコアクション21
認証番号 0011377

ISO/IEC 27001:2013/JIS Q 27001:2014 認証取得